第 45 回日本大腸肛門病学会九州地方会・第 36 回九州ストーマリハビリテーション研究会

データ発表の演題に関する Q&A

データ発表の演題に対して出た Q&A は下記の通りです。

【シンポジウム 1】

DS1-06

『ロボット支援下直腸切除術における step up の工夫とチームアプローチ』

- Q.ベからず集は教育としてとても良いと思います。読ませる対象は誰ですか?
 助手に入らない若い先生も?助手のサーティフィケートをとった人は誰ですか?
- A. 読ませる対象は助手に入る可能性のある先生には読んでいただいています。 ラパロとは違うロボット特有の注意点を知ってもらうためです。 結果として助手に入らないままローテートを終えてしまう先生もいらっしゃいますが 今後、ロボットがさらに普及した際にも思い出してもらえるようにしています。 助手の Certificate を持っているのは私だけです。今後増やしていきたいと思っています。

【シンポジウム 1】

DS1-04

『Two teams taTME を併用した Hybrid robotic rectal cancer surgery』

- Q.taTME とロボットの術者は同一人物ですか。同一だとするとどのタイミングで移動しているのでしょうか?
- A. taTME とロボットの術者は同じです。 移動するタイミングは、taTME で骨盤内蔵神経のレベルの剥離が終了したあとです。